

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

平成30年10月1日（月）

### 2 確認箇所

覆土式一時保管エリアL

### 3 確認項目

- (1) 3号機タービン建屋北西エリアにおける建屋水位差小警報に係る対応状況
- (2) 台風24号通過後の状況

### 4 確認結果の概要

- (1) 3号機タービン建屋北西エリアにおける建屋水位差小警報に係る対応状況について

3号機タービン建屋北西エリアにおいて、「建屋水位差小」警報※が発報した。このため、当該エリアに滞留水が存在した場合、建屋周りの地下水位との差が管理値を下回る可能性が高いことから、東京電力は運転上の制限を満足できないと本日6時9分に判断した。その後、6時10分に近傍のサブドレン設備が全台停止した。

このため、東京電力から事象の概要等について聴取した。

- ・6時9分時点で3号機タービン建屋北西側の水位は651mm(塩分補正済)で、最も水位が低いサブドレンNo.31の水位は973mmであり、両者の水位差は322mmであった。両水位計の計器誤差を200mmと設定していることから、保守的に400mmの誤差があるとみなし、運転上の制限から逸脱していると判断した。
- ・その後、3号機タービン建屋の北西エリアに水が無く、建屋滞留水水位がサブドレン水位を超えていないことが確認されたため、11時5分に運転上の制限からの逸脱宣言を取り消した。

※ 建屋内の滞留水水位と監視対象となっているサブドレンの水位差が小さくなること

- (2) 台風24号通過後の状況について

本日未明、台風24号が本県を通過したことから、その後の現場の状況を確認した。

- ・タンクエリア、1～4号機周辺、2.5m盤、5・6号北側伐採木エリアを巡回したところ、覆土式一時保管エリアL第4層のテント北側に設置された足場が、倒れかかっていた。（写真1）

- ・上記以外については、特に台風の影響を受けたと思われる点は確認されなかった。



(写真1)

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。